

★今年も高校生就業体験の受け入れを行いました★



大京穴吹建設高松本社では、6月22日（水）・23日（木）の2日間、CSR活動の一環として、毎年恒例となっている高校生の就業体験の受け入れを行いました。7年目を迎えたこの取り組みに、今年も香川県立高松工芸高等学校建築科3年生の4名が参加し、普段の授業ではなかなか体験することのできない建築に関する実務に近い授業や現場実習を体験してもらいました。

2日間のプログラムは、戸建ての間取り図の作成や、外観パースに着色するCAD講習などの設計業務の授業、図面から建築部材の数量を読み取って計算する積算業務の授業、購買業務全般についての授業に建物診断の授業のほか、現在弊社が施工している新築工事現場での実習などとなりました。やや難しい座学の授業では、睡魔と戦う場面も若干あったようですが、4名とも何かを吸収しようと、真剣な顔つきで参加していたのがとても印象的でした。中でも設計業務の授業では、お施主さまの要望を聞いた上で、自分のアイデアを盛り込んだ間取りを作成。最後にその作成した間取りについて発表してもらいましたが、「ここがポイントです」というところをきちんと押さえた説明を聞いていると、将来がとても楽しみに思えました。



大京穴吹建設での就業体験は、学生の皆さんにとっては建築業界に関わる仕事に少しでも興味を持ってもらい、新しい気づきを得て、この先進む道を考えてもらう1つのきっかけになったと思います。（弊社としても、建築業界のことを知り、興味を持ってもらう貴重な機会であり、建築業界の活性化に繋がると期待しています。）

実際にこのような就業体験を経験して、弊社に入社した社員もいます。今回の研修で新築工事現場での実習のサポートをした、入社2年目の社員もその1人です。見学に来られていた同校の先生は、卒

業した教え子との再会を喜び、社会人として頑張っている姿を見て嬉しそうに話しておられました。

今回就業体験に参加した学生の皆さんからは「いい経験ができて良かった！」「実際の現場で実際に使う機械を操作できてためになった」と大変満足したコメントをいただき、私たちも今回の就業体験を開催した意義を大いに実感することができました。

※大京穴吹建設の Facebook でも紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/anabuki.kensetsu/>



<大京穴吹建設 Facebook QRコード>